

定点カメラ特派員が 東西線駅周辺の「今」を発信

地下鉄東西線開業を契機に地域を元気にしようと結成された「東西線まちづくり市民応援部」。その活動の一環として、駅の建設や駅周辺の様子を定点カメラで撮影・記録している3人の特派員取材しました。

「今」を発信

「東西線まちづくり市民応援部」が定点カメラ特派員による記録撮影を開始したのは昨年4月。今年5月現在の特派員は8人で、月に1〜2回程度活動しています。連坊駅と宮城野通駅の撮影を担当する福井智行さんは「もともとカメラが好きだったので、その経験を生かして自分も何か仙台の役に立ちたいと考えました」と参加のきっかけを話します。

に恵まれなかったり、駅によっては景色に大きな変化がなかったりと、それぞれ苦労もあったようです。



市民応援部のホームページ

撮影した写真は、市民応援部のホームページで公開しています。「地道な活動ですが、変わりゆくまちの様子を写真に残すことで、将来資料として役立てられれば」と話すのは、国際センター駅と八木山動物公園駅を担当する清水秀甲さん。「自分が活動に携わったという記録にもなるので、やりがいを感じますね」とうれしそうに話してくれました。



▲左から清水さん、福井さん、丸山さん



◀撮影の様子。「完成が楽しみですですね」と丸山さん

卸町駅と薬師堂駅を担当する丸山礼子さんは「以前あった建物がなくなっていたり、季節によって風景が変わったり、いろいろな発見がありました」と撮影時のエピソードを教えてくださいました。天候



平成26年9月26日
薬師堂駅

まだ建物の形は見えません



平成26年12月19日

出入口の骨組みができてきました



平成27年2月25日

建物がシートで覆われ、左側の電柱がなくなりました



平成27年4月25日

いよいよ形が見えてきました

定点カメラの撮影以外にも、ボランティアなどでそれぞれイベントやまちづくり活動に関わっているという皆さん。「東西線の開業で、沿線で行われるイベントなどに、より幅広く人が集まるようになると思います。もっと多くの方に東西線に興味をもってもらえるよう、これからも撮影活動を頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

